

## 大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大 学 名	千葉大学
整理番号	L-3
事 業 名	ポスト・アーバン・リビング・イノベーション・プログラム

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価)  <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</div>	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>                     本事業は、我が国や中南米諸国の都市生活で抱える課題に挑み、新たなリビング・イノベーションに貢献する人材育成を目的としている。また、文理混合による事業成果を産業化する新たな取組として「大学発ベンチャー企業」の定着もアウトカムに据えた、先進的かつ意欲的なプログラムである。                 </p> <p>                     事業展開では、企業の開発プロセスを相手大学の学期に合わせて実施する、プロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）や、ジョブ・ベースド・ラーニング（JBL）型のプログラムであり、インターンシップも含めたカリキュラムとなっている。これらを、文系学生と理系学生がそれぞれ得意とする分野を混合させ、毎年継続的に実施するなど、未来に貢献する実践型人材を育成している点は他に類を見ない展開である。また、補助事業終了後の大学発ベンチャービジネス展開等も見据えた長期的なプログラムであり、企業の発想の教育を行いつつ、継続的な人材育成とその利用も踏まえ一連で検討・実践されている点は評価できる。プログラム修了生の起業を支援するスキームにも今後の期待が持てる。                 </p> <p>                     加えて、交流学生数についても概ね事業計画に沿った実績になっている点も評価できる。全学的取組を目指し、引き続き文系学生の参加の促進と、生命科学系学生を含めた展開の検討が望まれる。                 </p> <p>                     一方で、スペイン語力向上への対応が比較的少ないこと、中南米文化の理解に対する改善方策や、教員の研修、養成、交流のための仕組み作り、「実践型人材」の達成指標と評価方法等については、より柔軟な対応がなされることを期待する。                 </p> <p>                     最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。                 </p>